

矢作川流域圏懇談会通信

H26 市民企画会議編 vol.1



発行日：平成 26 年 5 月
編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

◆矢作川流域圏懇談会第 12 回市民企画会議(WG)を開催しました！

5 月 14 日に矢作川流域圏懇談会第 12 回市民企画会議 (WG) が開催され、市民や行政、学識経験者などの方々が参集し、多くの議論がなされました。

会議では、流域圏一体化及び今後の市民の関わり方についての話し合いがなされました。



日時：平成 26 年 5 月 14 日 (水) 18:00~20:30
場所：豊田市職員会館 3 階 第 1 部室
参加者：24 名 (事務局含む)

◆主な会議内容

1. 市民企画会議で決まったこと



- 次回の各地域部会で、他部会と連携して解決すべき流域の課題 (流域連携のテーマ) を話し合ってもらおう。(ex. 自分たちでできること、他の部会に望むこと、連携でできることを整理)
- 6 月に計画している流域圏懇談会の勉強会について、テーマを「矢作川流域における様々な課題」とし、辻本先生に話をしてもらい、各部会で議論した解決すべき課題も含め、新たな流域連携のテーマを考えていく。
- ゴミ・流木、土砂、木づかいについては、流域連携のテーマとし、具体的に検討方針、主務担当者やアウトプットを考えていく。例えば、木づかいでは、根羽村で計画している 3 県知事による木づかい推進シンポジウムである。



2. 報告、情報提供など



- 根羽村主催で、木づかい推進シンポジウムを長野、愛知、岐阜の垣根を飛び越えて開催できるように予算化した。矢作川流域圏懇談会の取組みとして紹介する予定であるので、共催になってもらえばと思う。長野県知事に、各県の知事が地域の取組みについて対談することも提案している。
- 6 月 15 日に開催される西の浜エクスカーションについて、山の方も川の方もご参加をお願いしたい。流域圏懇談会としてバスを 1 台出していただける。
- 6 月 5 日に矢作川環境技術研究会が交換研究発表会を開催する。



◆お問合せ◆

矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西 1-6 国土交通省豊橋河川事務所 事業対策官 西原、専門職 真柄

TEL 0532(48)8107/FAX 0532(48)8100

*矢作川に関する情報は、矢作川流域圏懇談会メーリングリスト (yahagigawa@ijinet.or.jp) までお送りください。



◆話し合いでの主な意見

(・意見 ▶ 回答)

●流域圏一体化及び今後の市民の関わり方について (各部会の活動内容やスケジュールへの提案)

(1) 山・川・海の流域連携について

- 矢作川流域圏首長さん懇談会のようなものを開いてはどうか。また、地域部会で少し時間をとって、連携について話し合うのもひとつである。他の部会の現地に関する活動に積極的に参加するのも良い。全て出るのは難しいが、1回ずつくらいは出ると目標を決めてやってみてはどうか。矢作川塾の話があったが、講師を呼んできて勉強するという話も良い。(本守)
- 連携の話について、全面的に賛同したい。また、小さい連携の勉強会を開催して、違う部会の人と交流するのも大切だと思う。提案としては、首長懇談会、矢作川塾、小さい連携を行うことを決めて、実際に中心になって進めるメンバーを今日決めることを提案する。(洲崎)
- 本守さん、洲崎さんの意見に賛同する。各部会で得意なこと、見てほしいものがあるはずであるので、素人の他部会の人たちを誘って、まずいいところや楽しいところを紹介できるような企画を考えてほしい。また、これだけ広い流域であるので、矢作川沿川の公園を拠点とした活動を実施することで、理解者が増えていくのではないかと。(今村)
- 連携の前に、それぞれの部会が他の部会に対して解決してほしいことを挙げるべきである。川から山、川から海への課題、要求を整理しなければ、首長懇談会をやっても仕方ない。位置づけと課題を整理すべきである。川部会でもまだ話が出てこないのが難しい。(光岡)
 - ▶ 各部会の問題を絵にして、各部会でやれること、連携しないとできないことを整理してはどうか。これまでの企画会議、市民会議だと3部会で共通するのは、土砂とごみ、という話ではあった。(洲崎)
- もし各部会で決まっていることがあるなら、できることから進めていった方が良い。議論ばかりでは面白くない。(高橋)
 - ▶ できるところからやっていくことが良いと思う。(光岡)
- 光岡さんのおっしゃるように、具体的な山川海をつなぐテーマをにらみつつ、首長さんと呼んでくるというのが良いと思う。ケイ素の問題も良いと思うが、私自身は土砂が分かりやすいと思っている。(内田)
- 部会ごとに各部会にしてもらいたいことが曖昧である。各部会がもう一度、各部会に望むことを話し合うことでどうか。(裕)
 - ▶ 地域部会に対して、企画会議が提案とお願いをすることで良いか。(黒田)
 - ▶ テーマが決まっていないものについてはそうであるが、ごみと土砂と木づかいについては、展開方針を決める必要がある。(西原)
- 矢作川塾は誰が開催するのか。(本守)
 - ▶ 矢作川塾は、懇談会のメンバーの中で知識を深めないと時期尚早かもしれない。懇談会の中での連携の小さな勉強会の開催の方が先かもしれない。(洲崎)
- 市民会議は、勉強会とか意見交換会とかいろいろあるが、矢作川塾については、別途また増やすということか。(西原)
 - ▶ 勉強会で良いのではないかと。(洲崎)



(2) 市民企画会議の運営について

- 市民企画会議系の会議は今年度4回予定している。具体的にどう進めていくのかを4回に振り分けて、担当を決めていただきたい。(西原)
 - ▶ 市民企画会議の中に首長会議部会と勉強会部会をつくってはどうか。首長部会は、本守さんと今村さん、勉強会部会を井上さんと光岡さん。首長ににしても勉強会にしても市民会議4回のスケジュール以外に、自主ワーキングが必要だと思う。(洲崎)



(3) 市民企画会議の運営勉強会について

- 流域の勉強会を懇談会でやってほしい。6月にすぐに辻本先生を招いて、辻本先生でなくても良いが、流域の勉強会を開いてはどうか。(本守)
 - ▶ 第12回の勉強会を、各部会の報告、辻本先生のお話を聞いて議論する機会を行うということで良いと思う。(光岡)
 - ▶ 鷲見先生の予定もおさえておいて、一緒に出席してもらおうと良い。(内田)
- 研究所が創立20周年で矢作川流域についてとりまとめたレポートがあるので、流域について、その紹介はできる。生物の話が主であるので、土砂や流木の話はない。(洲崎)
- 矢作川研究所でレポートを紹介しても良いが、生き物にフォーカスしているので、流木や土砂の話は、他の人の説明がある。(洲崎)



ふりかえり

会議後にご記入いただいた、ふりかえりシートの内容の一部をご紹介します。



よかったと思うこと：多くの方の意見が聞けたことが大変良かった。/謹かではあるが前に進んだ感じがした。

よくなかったと思うこと：意見が多く出る活発な会議なので、もう少し時間に余裕があるといいと思います。

市民の参加を増やすアイデア：どのレベルでの参加か。登録メンバー全員を言うのか。/「出るべき会合」という認識がないのか、理解できていないのか不明である。徹底するべきである。/流域市町村の巻き込み。

